



「未来志向」「ONE TEAM」で、JR産業に「安心」を取り戻そう！

2022年 3月18日

日本鉄道労働組合連合会

## JREユニオン2022春闘交渉妥結

# 定期昇給の実施(昇給係数4)

**基準内賃金の1人当たり平均増加額:6,311円**

JREユニオンは3月17日、2022春季生活闘争の第3回団体交渉を行い、会社から、申6号「賃金引き上げの要求について」に対する最終回答が示された。

冒頭会社より、3月16日深夜に福島沖で発生した地震に触れられ、現在もなお復旧に向け現場で奮闘する社員に対し謝意が述べられた。その後、上記の回答が示され、JREユニオンは「昨年は昇給係数2による定期昇給であったが、今回、回答指定日前に昇給係数4による定期昇給を確認できたことは評価に値する。現場の社員も安堵することであろう」との見解を示しつつも、一方で、「この間、我々が求めてきたベアについて示されなかったことは遺憾である。至近の物価上昇を考慮すれば、ベアは必要」と主張。さらには、回答書に雇用に対する考え方が示されていないことにも触れ、「労使の信頼関係のもと、雇用調整が行われることはない」と認識する」と言及した。

会社からは「賃金引き上げは将来に亘る生産性向上の原資であり、構造改革に伴い、今後社員一人一人が主役となって様々なことにチャレンジして頂く期待を込めてのものである。当然ながら物価上昇も一つの判断要素であり、総合的に勘案した上で、今回の回答に至った」との見解が示され、さらに、「『雇用の安定』は何よりも優先されなければならない。『変革2027』のもと、社員と家族の幸福実現や会社の持続的発展の実現、さらには雇用の安定を前提とした諸労働条件の向上に繋げていくことが重要である」とした。

JREユニオンは、回答を持ち帰り、持ち回りによる執行委員会で意思統一を図った。現下の厳しい経営状況や取り巻く情勢を踏まえれば、これ以上の要求前進は困難と判断し、妥結した。なお、55歳以上の労働条件改善や構造改革に向けた社員のモチベーション向上についても、今後の課題と認識し、鋭意取り組んでいくこととしている。